

謝辞

本研究は、多くの方々のご指導とご協力の下で行われたものである。

筑波女子大学の草薙裕先生には、研究のテーマ決定から結論に至るまでご助言とご指導をいただいた。先生には留学当初指導教官であった頃からお世話になり、筑波女子大学に移られた後も、貴重なお時間を割いていただき、心より厚く感謝申し上げます。

また、指導教官の筑波大学文芸・言語学系の湯沢質幸先生には、定期的に打ち合わせの時間を設けていただき、長い時間を本研究に取り組んでいただいた。本論文は先生のご指導のたまものである。心より厚く感謝申し上げます。

そして、筑波大学文芸・言語学系の高田誠先生、岡崎敏雄先生、矢沢真人先生には論文の全体にわたり貴重なご指導とご助言をいただき、心から厚く御礼を申し上げます。

筑波大学文芸・言語学系の坪井美樹先生からも丁寧なご指導をいただき、深謝する。

なお、大学時代からずっと見守ってくださる韓国の釜山大学の金玉英先生にもこの場を借りて感謝の意を表したい。

また、日本語のチェックをしていただいた筑波大学応用言語研究科の亀田千里様にも御礼を申し上げます。

最後に、いつも精神的支えになってくれている夫の徐基弘にも感謝する。

1999年 11月

安 善柱